

第 10 期 事 業 報 告 書

令 和 2 年 度

令和2年 4月 1日から
令和3年 3月31日まで

公益財団法人 日 本 腎 臓 財 団
東京都千代田区九段南三丁目2番7号

目 次

I	事業の状況	P. 1
II	処務の状況	P. 7

I 事業の状況

1. 概況

- (1) 経済界、医業界の理解と関係諸学会、諸団体および一般の方々の協力を得て、総額92,295,087円の募金を行った。
- (2) 前年度に引き続き、賛助会員の増強に努めた。
- (3) 新型コロナウイルスの影響により中止した以外の研究機関・研究グループの研究調査に対する助成、学会・研究会に対する助成、公募助成、J-DOPPS第7期調査（日本における血液透析の治療方法と患者の予後についての調査）、褒賞、雑誌発行、CKD（慢性腎臓病）対策推進などの事業は、順調に遂行され、事業費は総額225,785,308円を支出した。
- (4) 透析療法従事職員研修について、集中講義及び実習研修を行う予定であったが、新型コロナウイルスのため中止した。
- (5) 日本腎臓財団各賞の受賞者座談会記録を作成した。
- (6) CKD（慢性腎臓病）医療関係者に対して公募助成を行った。
- (7) J-DOPPS第7期調査研究2年目を開始した。
- (8) 雑誌「腎臓」VOL. 43を発行した。
- (9) 雑誌「腎不全を生きる」VOL. 62、VOL. 63を発行した。
- (10) ACジャパン支援キャンペーンにおいて、令和2年7月より慢性腎臓病（CKD）啓発活動のための公共広告を展開した。また、次年度の支援キャンペーン企画案の選定等準備を進めた。
- (11) 「CKD対策推進のための市民公開セミナー」をオンラインで開催した。
- (12) 令和2年10月、厚生労働省、長崎県などが行う臓器移植普及推進月間行事に主催として協力予定であったが、新型コロナウイルスにより中止となった。
- (13) 総事業費支出に対する助成金支出率は26.6%である。
期末基本財産は974,036,260円である。

2. 募金状況

経済界、医業界、関係諸学会、諸団体および一般の方々の協力を得て総額92,295,087の募金を行った。

3. 賛助会員

- (1) 令和3年3月末の会員数は828会員（967口）となり、内訳は次の通りである。
 - 1) 団体A会員 医療法人又はその他の法人及び公的・準公的施設（1口50,000円）

特別会員b（5～9口）	5会員（26口）
一般会員（1～4口）	634会員（674口）
 - 2) 団体B会員 法人組織でない医療施設、医局又は団体（1口25,000円）

一般会員（1～4口）	49会員（54口）
------------	-----------
 - 3) 個人会員 個人（1口10,000円）

特別会員a（10口以上）	3会員（30口）
特別会員b（5～9口）	7会員（35口）
一般会員（1～4口）	130会員（148口）

(2) 令和2年4月～令和3年3月末の入会者は次の通りである。

1) 団体A会員 4会員(4口) (敬称略・順不同)

一般会員 (1～4口)

千葉・医療法人社団 成和心会 東葛クリニック野田(団体B会員から変更)
静岡・医療法人社団 健寿会 山の上病院
静岡・医療法人社団 まつや会 はた医院
石川・医療法人社団 瑞穂会 みずほ病院

2) 団体B会員 該当無し

3) 個人会員 8会員(15口) (敬称略・順不同)

特別会員b (5～9口)

神奈川・小林 修三

一般会員 (1～4口)

神奈川・大久保 博之
山梨・秋山 輝雄
岐阜・加藤 雅之
京都・柳田 素子
大分・大石 義英
富山・吉崎 真人
(他1名)

4. 研究・学会・支援助成事業

腎臓に関する学会開催・運営、及び腎臓に関する研究会など研究団体が実施する研究・調査活動等を支援するための助成

助成審査委員会において各案件ごとに審査の上、次の研究機関、研究グループ、研究課題および研究会、学会に対して44,201,000円の助成を行った。

(1) 研究助成(敬称略)	9案件	42,625,000円
1) 腎疾患の発症・病態生理と進展防止に関する研究会		
東京女子医科大学 腎臓内科学・新田 孝作		10,445,000円
2) 城東地域の腎臓病の病態と治療研究会		
医療法人社団 韮生会 メディカルプラザ篠崎駅西口・佐中 孜		500,000円
3) 日本女性腎臓病医の会		
京都華頂大学 現代家政学部 食物栄養学科・武曾 恵理		1,000,000円
4) 腎泌尿器癌研究会		
東京女子医科大学 泌尿器科学・田邊 一成		17,000,000円

- 5) 高知県腎泌尿器疾患研究会
高知大学 医学部 泌尿器科学講座・井上 啓史 800,000円
- 6) 日欧米心臓血管外科研究交流会
京都大学大学院医学研究科 器官外科学講座心臓血管外科・湊谷 謙司 100,000円
- 7) 千葉大学先端応用外科学教室記念事業
千葉大学大学院医学研究院 先端応用外科学・松原 久裕 9,000,000円
- 8) 電解水透析研究会
聖路加国際病院 腎臓内科・中山 昌明 3,280,000円
- 9) 兵庫慢性腎臓病対策研究会
兵庫医科大学 内科学 腎透析科・倉賀野 隆裕 500,000円
- (2) 学会助成 (敬称略) 2案件 1,576,000円
- 1) 日本腎不全看護学会学術集会・総会
(第24回) 日本赤十字九州国際看護大学 看護学部・中村 光江 180,000円
- 2) International Society of University Colon Rectal Surgeons (ISUCRS) 2020
(第30回) 藤田医科大学病院 国際医療センター・前田 耕太郎 1,396,000円

5. 公募助成事業

腎臓に関する研究と腎不全医療の発展を支援し、腎疾患の予防、腎疾患患者のQOL向上を図るため、CKD（慢性腎臓病）病態研究助成として、「腎性貧血」「腎性骨症」に対する研究助成

令和2年12月22日、Zoomを使用したオンラインにて開催した選考委員会に於いて、令和2年度対象者下記20名に対して11,400,000円の助成を決定した。

(敬称略)

1. 日本大学医学部 医学研究企画・推進室 松田 裕之
2. 筑波大学 医学医療系 医療科学(血液学) 小原 直
3. 筑波大学 医学医療系臨床医学域腎臓内科学 白井 俊明
4. 国立大学法人 熊本大学大学院 生命科学研究部・薬物治療設計学分野 丸山 徹
5. 名古屋市立大学病院 腎臓内科 小野 水面
6. 東京女子医科大学東医療センター 血液浄化部 西沢 蓉子
7. 岡山大学病院 腎臓・糖尿病・内分泌内科 喜多村 真治
8. 東京大学大学院 医学系研究科 糖尿病・生活習慣病予防講座 岡田 啓
9. 那珂記念クリニック 臨床研究室 加藤 誠
10. 徳島大学大学院 医歯薬学研究部・応用栄養学分野 瀬川 博子

11. 大阪大学大学院 医学系研究科 腎臓内科学 安田 聖一
12. 防衛医科大学校 医学部生理学講座 石渡 遼
13. 関西医科大学 iPS・幹細胞再生医学講座 加藤 憲
14. 公立大学法人 大分県立看護科学大学 看護学部 人間科学講座 岩崎 香子
15. 東北大学東北メディカル・メガバンク機構 地域医療支援部門 菊地 晃一
16. 地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター
研究所・骨発育疾患研究部門 道上 敏美
17. 東急株式会社東急病院 腎臓・透析内科 内山 威人
18. 東海大学医学部 内科学系 腎・代謝内科学 駒場 大峰
19. 東京慈恵会医科大学附属病院 腎臓・高血圧内科 神崎 剛
20. 昭和大学医学部内科学講座 腎臓内科学部門 井芹 健

6. 調査研究事業

腎疾患患者さんの治療の向上と普及を図るため、腎臓に関する調査研究として、J-DOPPS第7期調査（日本における血液透析の治療方法と患者の予後についての調査）の実施

- (1) 令和2年7月よりJ-DOPPS第7期調査研究2年目に入った。
研究実施施設交代による新規研究施設（1施設）、新規協賛企業（1社）と契約を締結した。
- (2) 研究計画書に基づき、研究参加施設より透析登録調査、患者背景調査、患者経過調査、研究実施責任医師調査等のデータ収集を継続した。
- (3) 令和2年11月2日、第65回日本透析医学会学術集会・総会にてDOPPSシンポジウムをWEBにて開催し、参加者は142名であった。
- (4) 令和2年11月、倫理審査委員会へ継続申請を行い承認を得た。
- (5) ステアリング委員会
 - ・令和2年4月2日 メール会議にて、コロナウイルスに関する研究実施責任医師調査(MDS)について話し合った。
 - ・令和2年6月22日 メール会議にて、公募論文推進グループ、生物統計支援グループのメンバーについて話し合った。
 - ・令和2年7月6日 メール会議にて、スポンサー企業からの研究申請について話し合った。
 - ・令和2年7月29日 メール会議にて、公募論文支援グループメンバー、薬剤調査票邦訳表記の変更、スポンサー企業からの研究申請について話し合った。
 - ・令和2年8月5日 メール会議にて、スポンサー企業からの研究申請および研究の進め方について話し合った。
 - ・令和2年11月25日 メール会議にて、研究論文化（J-DOPPS CLIP）に関する募集要項と応募書類の内容について話し合った。
 - ・令和3年1月22日 メール会議にて、第66回日本透析医学会 DOPPSシンポジウムプログラム等について話し合った。

- (6) 透析医療発展のための研究論文執筆者を支援する研究論文作成支援プロジェクト J-DOPPS CLIPを開始した。
- (7) 財団ホームページにて、J-DOPPSの集計データDopps Practice Monitor (DPM)を公開した。

7. 透析療法従事職員研修事業

透析に携わる医療従事者の透析医療の基礎的な知識と技術の向上を目指すための研修の実施

- (1) 令和2年7月11日、12日大宮ソニックシティに於いて集中講義の開催、および全国の実習指定施設に於いて実習研修を行う予定であったが、新型コロナウイルスのため中止した。
- (2) 令和2年11月13日、Zoomを使用したオンラインにて透析療法従事職員研修運営委員会を開催し、令和2年度の報告と令和3年度の企画立案を行った。

8. 褒賞事業

腎臓学の研究に関する注目すべき業績に対する褒賞

- (1) 令和2年10月2日、Zoomを使用したオンラインにて褒賞選考委員会を開催し、令和3年度日本腎臓財団賞・学術賞の受賞者選考を行い、次の4名の表彰を決定した。

(敬称略)

日本腎臓財団賞	五十嵐	隆	(国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 理事長)
学術賞	内田	信一	(東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 腎臓内科学 教授)
学術賞	西	慎一	(神戸大学大学院 医学研究科 腎・免疫内科学分野 腎臓内科学部門 教授)
学術賞	西山	成	(香川大学 医学部 薬理学 教授)

また、功労賞は次の1名の表彰を財団運営会議にて決定した。

(敬称略)

功労賞	峰島	三千男	(帝京平成大学 健康メディカル学部 医療科学科 教授)
-----	----	-----	--------------------------------

令和3年2月、令和3年度日本腎臓財団賞、学術賞、功労賞の表彰を行う予定であったが、新型コロナウイルスのため延期となった。

- (2) 令和2年10月26日、Zoomを使用したオンラインにて令和2年度日本腎臓財団賞・学術賞・功労賞の受賞者座談会を開催し、座談会記録を雑誌「腎臓」VOL. 43に収録した。

9. 雑誌発行业

(1) 雑誌「腎臓」

腎臓に関する医療者を対象として治療・研究などの情報掲載した雑誌の発行

- 1) 雑誌「腎臓」VOL. 43を3,500部発行し、関連医療施設に無償で配布した。
- 2) 令和2年8月、メールにてVOL. 43の企画について検討・決定した。

(2) 雑誌「腎不全を生きる」

透析患者さん・およびご家族の方々を対象に腎臓病に関する知識や情報、栄養・食事・クスリ・合併症等、日々の治療・生活に役立つ雑誌の発行

- 1) 雑誌「腎不全を生きる」VOL. 62を42,000部、VOL. 63を41,000部発行し、関連医療施設に無償で配布した。
- 2) 令和2年6月、メールにてVOL. 62の企画について検討・決定した。
- 3) 令和2年10月30日、Zoomを使用したオンラインにて編集委員会を開催し、VOL. 63及び今後の企画について話し合った。

10. CKD（慢性腎臓病）対策推進事業

CKDの正しい知識と予防の大切さを一般の方に広く知っていただき、CKD予防の促進を図るための事業

- (1) ACジャパン支援キャンペーンにおいて慢性腎臓病（CKD）啓発活動のための公共広告を展開した。また、次年度の支援キャンペーン企画案の選定等準備を進めた。

- (2) CKDセミナー オンライン

令和3年2月28日、朝日新聞社スタジオに於いて、『CKDセミナーオンライン「えっ！？8人に1人が・・・あなたも慢性腎臓病（CKD）の予備群かもしれません。」』と題し、930名の参加者を得て慢性腎臓病（CKD）についてのセミナーをオンライン開催した。後日、朝日新聞全国版朝刊土曜別刷「be」、朝日新聞デジタルに記事を掲載した。

- (3) 冊子作成

慢性腎臓病（CKD）予防の大切さを一般の方に広くご理解いただくための冊子「慢性腎臓病（CKD）予防のために」を17,000部、「CKDをご存知ですか？～腎臓を護ることは命を守ることです」を8,000部作成した。

11. 臓器移植普及推進月間活動に対する協力

移植医療について広く一般にご理解いただき、腎臓移植を推進するための協力

令和2年10月、臓器移植普及推進月間の諸行事、及び10月25日、長崎県にて開催する第22回臓器移植推進国民大会に厚生労働省、長崎県、日本臓器移植ネットワークと共に主催として協力予定であったが、新型コロナウイルスにより中止となった。

Ⅱ 処 務 の 状 況

1. 役員に関する事項

(1) 役 員

令和2年6月2日現在（50音順）

会 長	高 部 豊 彦	元東日本電信電話株式会社 代表取締役社長、 日本郵便株式会社 社外取締役
理 事 長	秋 澤 忠 男	昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門客員教授
理 事	相 京 重 信	元SMB C日興証券株式会社社長、橋本総業株式会社 社外取締役
理 事	秋 田 瑞 枝	弁護士、ひのき総合法律事務所所長
理 事	内 山 英 世	公認会計士、朝日税理士法人顧問
理 事	中 川 隆 進	元日本銀行政策委員会政策委員
理 事	中 山 恒 博	東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社 取締役、三井不動産株式会社 取締役
理 事	菱 田 明	浜松医科大学名誉教授
理 事	平 方 秀 樹	医療法人医心会福岡腎臓内科クリニック理事長
理 事	前 波 輝 彦	医療法人あさお会あさおクリニック理事長
理 事	水 附 裕 子	一般社団法人日本腎不全看護学会評議員
理 事	御手洗 哲 也	埼玉医科大学名誉教授
監 事	大 塚 美智子	公認会計士、大塚公認会計士事務所所長
監 事	原 茂 子	原プレスセンタークリニック院長

(2) 役員会

開催年月日・場所	議案	議事結果
第28回理事会 令和2年6月2日 (書面表決にて開催)	1. 令和元年度(自令和元年4月1日から至令和2年3月31日)事業報告及び決算報告承認の件	原案どおり 全員一致で可決
	2. 第22回評議員会 招集の件	原案どおり 全員一致で可決
	3. 個人情報取扱規程制定及び公募助成選考委員会規程一部改訂承認の件	原案どおり 全員一致で可決
	4. 顧問選任の件	原案どおり 全員一致で可決
第29回理事会 令和3年2月19日 公益財団法人 日本腎臓財団会議室 (Zoomを使用したオンラインにて開催)	1. 令和3年度(自令和3年4月1日から至令和4年3月31日)事業計画・正味財産増減予算書の件	原案どおり満場 一致で可決
	2. 評議員会の日時、場所及び目的である事項等の件	原案どおり満場 一致で可決
	3. 一般寄付金の使途の件	原案どおり満場 一致で可決

2. 評議員に関する事項

(1) 評議員

令和2年6月15日現在（50音順）

氏名	勤務地
安藤 亮一	医療法人社団清湘会清湘会記念病院副院長
五十嵐 隆	国立研究開発法人国立成育医療研究センター理事長
伊丹 儀友	医療法人友秀会伊丹腎クリニック理事長
伊藤 貞嘉	公立刈田総合病院 特別管理者
上田 善彦	獨協医科大学名誉教授
内田 明子	聖隷横浜病院 総看護部長
大石 義英	東亜大学医療学部医療工学科教授
衣笠 えり子	昭和大学横浜市北部病院内科客員教授
小林 修三	医療法人沖繩徳洲会湘南鎌倉総合病院院長代行
小林 美奈	弁護士、古賀総合法律事務所
西 慎一	神戸大学大学院医学研究科腎・免疫内科学分野 腎臓内科学部門教授
西沢 邦浩	日経BP社日経BP総研メディカル・ヘルスラボ客員研究員
新田 孝作	東京女子医科大学腎臓内科学教授
長谷川 芳樹	弁護士、創英国際特許法律事務所所長
平田 純生	I & H株式会社学術顧問
八木澤 隆	独立行政法人地域医療機能推進機構うつのみや病院病院長
山本 裕康	東京慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科教授
和田 隆志	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科腎臓内科学教授

(2) 評議員会

開催年月日・場所	議案	議事結果
第22回評議員会 令和2年6月15日 (書面表決にて開催)	1. 令和元年度(自令和元年4月1日から至令和2年3月31日)事業報告及び決算報告承認の件	原案どおり 全員一致で可決
第23回評議員会 令和3年2月19日 公益財団法人 日本腎臓財団会議室 (Zoomを使用したオンラインにて開催)	1. 令和3年度(自令和3年4月1日から至令和4年3月31日)事業計画・正味財産増減予算書の件	原案どおり満場 一致で可決

3. 許可・認可に関する事項

令和2年12月10日、内閣府より紺綬褒章公益団体の認定を受けた。

4. 契約に関する事項

該当事項なし

5. 登記に関する事項

令和2年6月26日、会計監査人の重任登記を行った。

6. 行政庁指示に関する事項

該当事項なし

7. その他特記事項

該当事項なし

以上

令和2年度事業報告附属明細書

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。